

不適応学生への包摂的アプローチ

～全学的な学生支援体制構築の試みから～

2013.10.22

九州産業大学 基礎教育センター

特任講師

鬼塚 淳子

I, 本学の学生状況と課題

学生数：約11,000人 (H25年4月1日現在)

◎不本意入学者

◎入学前からの不適応

◎大学特有要因



- ・出席、成績の向上
- ・理解力、意欲の向上
- ・除籍、退学、休学、卒業延期者の低減
- ・就職内定率の増加

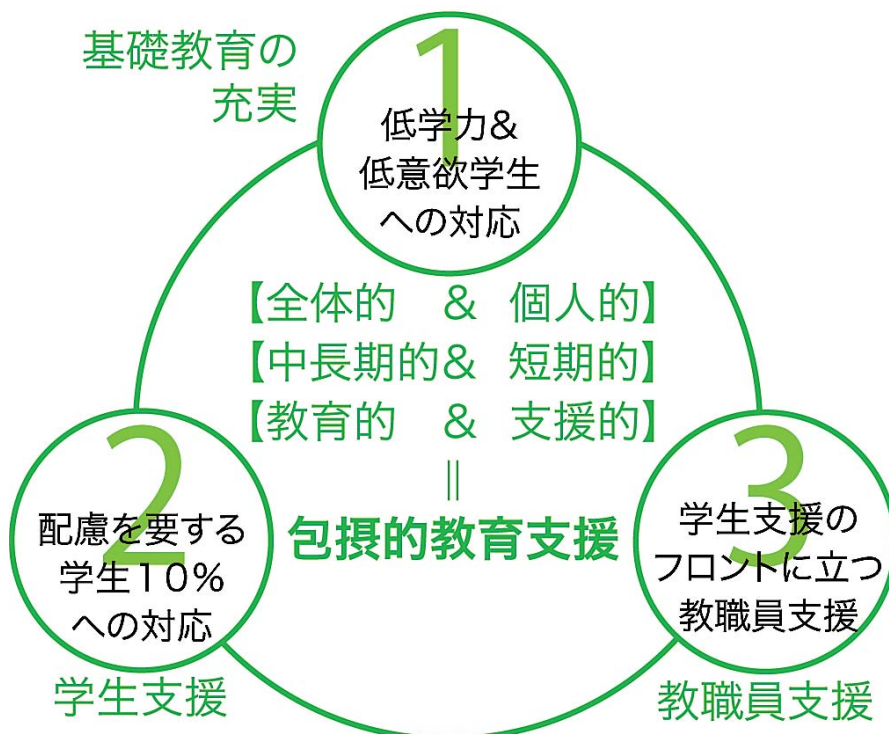


図1 本学における学生教育支援に対する課題

大学評価に直結 1

11、基礎教育センターの業務

1、概要（配付資料：基礎教育センターパンフレット参照）

設立：'09年4月 総員14名（センター長、専任教員8名、事務職員5名）

目的：学生の基礎教育の充実強化

2、業務

大学生活における何でも相談窓口

・オフィスアワー・学生アシスタント・就学全般相談

高校から大学教育へのスムーズな移行の支援

・入学前教育・基礎ゼミガイダンス・マナー講座、九産大学

（配付資料：マナーから始まる九産カパンフレット参照）

高度な専門教育を確実なものにするための基礎作り

・全学共通基礎教養科目の立案・数学、物理基礎教育強化

・国語教育強化・キャリア教育・★心の健康科目

2

3、基礎教育センターを中心とした連携業務

支援者（教職員）を支援する仕組みづくり

・学生支援手引き作成と説明会、教員支援チーム

（配付資料：特別な配慮を要する学生への指導・対応の手引きパンフレット参照）

交流の場・仲間づくり授業・居場所づくり

・★ピアサポート、ピアルーム&ピアコミュニケーション

4、基礎教育センターと各支援部所との協働支援体制

・★特別な配慮を要する学生制度、健康相談（学生部、学生相談室）

・クラス担任支援、★旧プロジェクトK（出席不良・成績不良者面接）

（配付資料：クラス担任ハンドブック参照）

・入学時修学支援申請（入試部）、修学懇談会（各学部）

・全学的学生情報ネットワーク K's Lifeによる情報共有

・★就労移行支援（キャリア支援センター）



除籍・退学率低下、予防対策の重要課題

3

III, 包摂的學生支援体制づくり

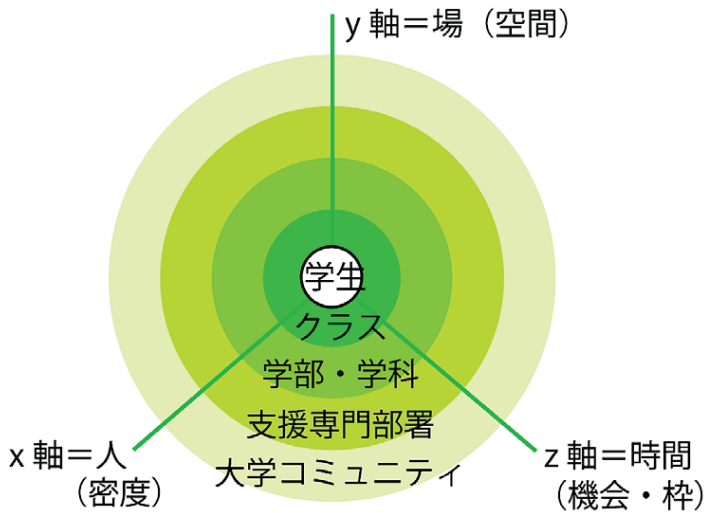


図2 包摂的支援の3次元軸と多層セーフティネット

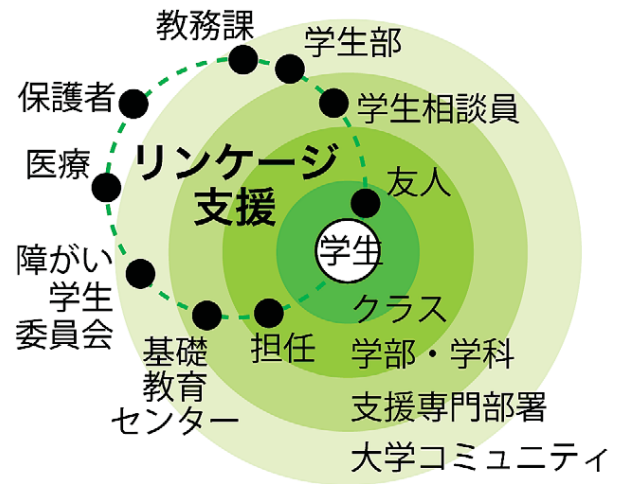


図3 学生と各支援部所をつなぐ包摂リンケージシステム

配慮学生支援→全学的支援力（ユニバーサルデザインの発想）



事後対応から予防へ、全学的な包摂支援体制づくり

4

IV, より質の高い支援への課題

1、大学の学生生活にかかるリスク場面

- ◎危機対応（クレーム対応、傷害、犯罪、災害、自殺防止）
- ◎学生の人間教育（精神面、生活行動面、マナー、向上心）
- ◎学習の質の向上（出席・成績把握、プロジェクト型教育）

2、学生生活リスク回避の3つの柱

- ◎友人&居場所づくり⇒ クラス形成、グループワーク
- ◎勉強がわかる、面白い⇒ 基礎学力・学習支援・意欲向上
- ◎困った時の相談体制 ⇒ 相談機会の密化、支援強化

3、学生生活支援への全学的取組課題

- ◎コミュニティアプローチ（×密室 オープンな支援）
- ◎ピアサポート（専門家 + 学生相互支援力強化）
- ◎教職員の学生支援力アップ（見つける目、つながぎ）

★大学全体の包摂的支援力によるリスク対応力向上

5

まとめ

従来の学生支援＝不適応、障がい学生への支援スキルの向上
⇒今や、特別な配慮を要する学生のためのものではない、
全学生・大学運営に向けた課題

配慮学生支援から生まれた全学的包摂ネットワーク支援構造
⇒実は、学生生活全体の予防的リスク回避の視点へシフト

- ★大学全体のリスク対応力の向上
- ★除退率低減、大学評価アップ
- ★質の高い大学ブランド構築へ